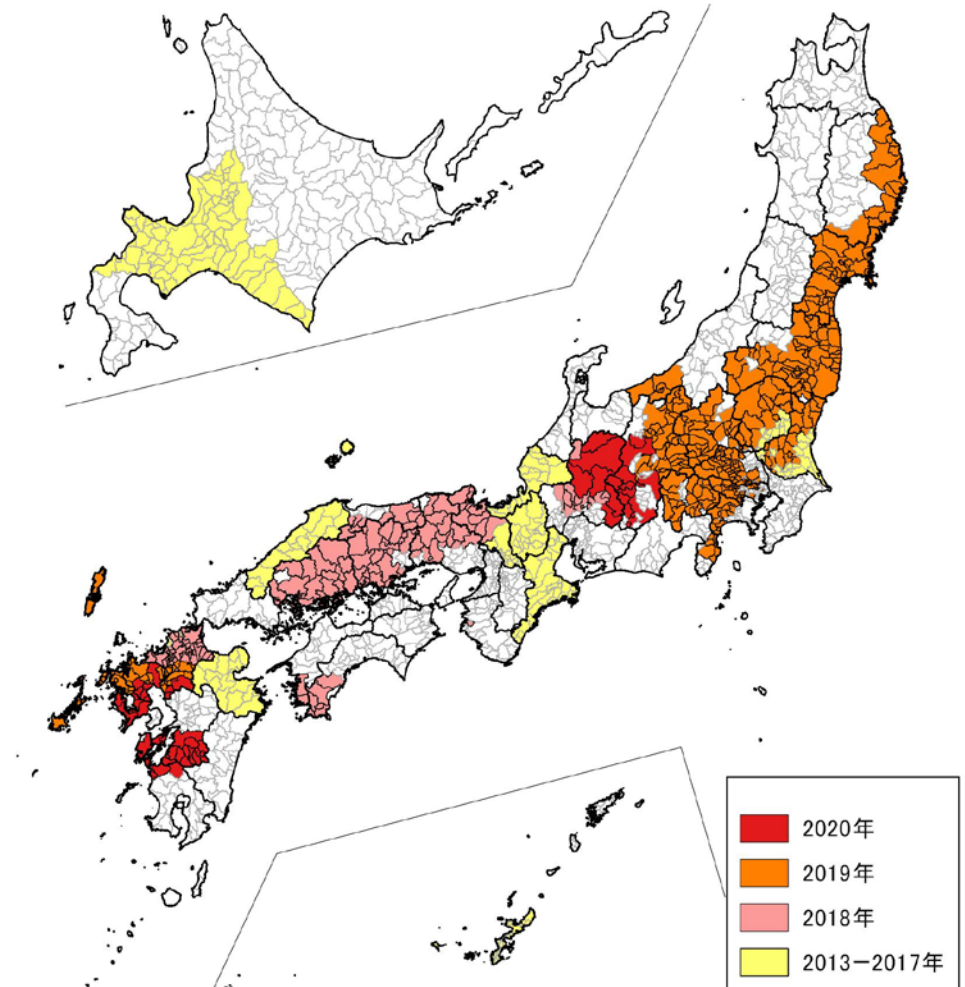


# 大雨特別警報が発表された市町村等

- 大雨特別警報の運用が開始された平成25年8月から令和2年7月末まで（約7年間）に発表された地域を図示化
- 数十年に一度の大雨が予想された場合に発表されるもの
- 直近3年間だけでも、多くの地域で発表されており、災害が起こる蓋然性は地域によらず、少なくない

現象	年月日	発表された地域
令和2年7月豪雨	2020.7	長野、岐阜、福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島
令和元年東日本台風	2019.10	岩手、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡
令和元年8月の前線の大雨	2019.8	福岡、佐賀、長崎
令和元年台風第5号	2019.7	長崎
平成30年7月豪雨	2018.7	岐阜、京都、兵庫、鳥取、岡山、広島、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎



出典) 気象庁業務資料を基に林野庁が作成

注1) 市町村の一部において発表されている場合も市町村全域に着色している

注2) 2013年から2017年にかけては、都道府県単位で着色している

注3) 複数年で大雨特別警報が発表されている地域は、代表して直近年の色で着色されている